

IGK 日独共同大学院プログラム 2016 春季共同セミナー

水曜日 (3月9日)

- 11.00 Uhr 開会挨拶、自己紹介
12.00 Uhr 昼食
14.00 Uhr ハラルド・ブルーム (ハレ大学) : 自己統制あるいは自治-思想史、概念史的反省
bis
18.00 Uhr と推測(講義とワーキンググループ)

木曜日 (3月10日)

- 10.00 Uhr ペーター・ヴァルケンホルスト (ベルテルスマン財団) : 東アジアにおける社会的紐帯
12.00 Uhr 昼食
14.00 Uhr テーマ: 市民運動による都市-田舎関係の変革
bis
18.00 Uhr ハラルド・レムケ (ハンブルク) : 民主主義的公共性の構造転換—市民社会的な自分たちでまちづくり。ザンクト・パウリ地区 (ハンブルク) における「カイクム・ツェレ」を一例として
梶谷真司 (東京大学) : 地方の規範と社会的統合—環境問題に対する美的感覚によるアプローチ

金曜日 (3月11日)

- 10.00 Uhr ナジャ・キシユカ=ヴェルホイザー (ボン大学) : 明治期日本における女性協会と女性の自律組織
12.00 Uhr 昼食
15.00 Uhr 稲垣健太郎 (東京大学) : フーゴ・グロティウスにおける「ヘブライ人の共和国」論 - 国家教会法の別の起源
16.-18.00 Uhr ユルゲン・ロイレッケ (フライブルク) : 19世紀から20世紀前半のドイツにおける地方自治

土曜日 (3月12日)

- 10.00 Uhr 平松英人 (東京大学) : 1945年以前の日本における地方自治—身分制社会の共同体自治から国民国家的に編成された市民社会における名望家自治へ
12.00 Uhr 昼食
14.00 Uhr 大下理世 (東京大学) : 西ドイツにおける民主化の理念(1969-1974)—グスタフ・W・ハイネマンの民主主義への理解に着目して
川崎聡史 (東京大学) : *Das Verhältnis des Westberliner SDS zum Vietnamkrieg in der zweiten Hälfte der 1960er Jahre*
16-18.00 Uhr シュテファン・ブッセ (ハレ) : ドイツにおける地方自治と市民財政

日曜日 (3月13日)

ヴィッテンベルク市内見学